

第3回全日本空手道体重別選手権大会および第20回全日本パラ空手道競技大会
監督会議資料

日時：令和6年7月30日

【8月11日,12日 体重別選手権】

全日本空手道連盟競技規定（2023年4月1日改訂）により、執り行うこととする。

（大会実施要項参照）

*今大会は、体重別による日本一の選手を決める大会である。

出場する選手は、試合場はもとより試合場以外でも常に品格のある佇まいを心掛けていただきたい。

また相手に対する思いやり・感謝の心を持って大会に臨むことを強く希望する。

1. 安全具について

(1) 以下を必ず必要とする。

- ・拳サポーター（WKF または全空連承認品）
- ・マウスピース（透明、もしくは無色のもの）
- ・ボディプロテクター（WKF または全空連承認品）
- ・インステップガード、シンガード（WKF または全空連承認品）
- ・セーフティーカップ（男子のみ）
- ・チェストガード（女子のみ）

※拳サポーターは「令和5年1月16日付け、組手競技における拳サポーターの使用基準について（通知）」を参照

※安全具の色が剥げている物は認めない。

(2) 第2回大会において、多くの女子選手がチェストガードをつけない、あるいは中の安全具を抜いて試合を行っていた事案があったため、必ず確認を行う。なお、防具等に不備があった場合、2分間の猶予を与えられるが、それでも装着できない場合は棄権とする。

なお、男子のセーフティーカップについても同様の処置、手続きを行うものとする。

(3) 当該試合時にコートで組手2分ルールが適用となった選手の監督は、その試合につくことができない。

(4) インステップガードは、つま先の指が隠れる物のみ使用可とする。

2. 注意事項

(1) 本大会では全試合プロテストを採用する。

また、決勝戦ではビデオレビュー（VR）システムを採用する。

(2) 競技者が所属する都道府県審判員以外で、審判構成を行う。万が一誤って競技者の所属都道府県審判員で試合を行った場合は無効とし、最初からやり直す。

(3) 地区協議会、高体連、学生連盟、実業団から選出された選手および全空連推薦選手については、申し出のあった所属都道府県を該当都道府県とする。

(4) 選手全員左腕に、大会スポンサーワッペンを必ず縫い付けること。

(5) 道着のサイズは、競技規定以外の物は不可とする。

(6) 選手・監督は、IDカード（メディカルカード）を携行して、競技場に入る。